

# 新編江戸志

九

					和書門
			九三〇七		
	一〇	一〇	二七		
一	一	一	函	號	類
冊	架	函	號	類	

庫	文	閣	内	
七四函		九三〇七		和書
	一一冊	二七		類
七架	冊	號	類	

内閣文庫	
番號	和 9307
冊數	11 ( 9 )
函號	174 42



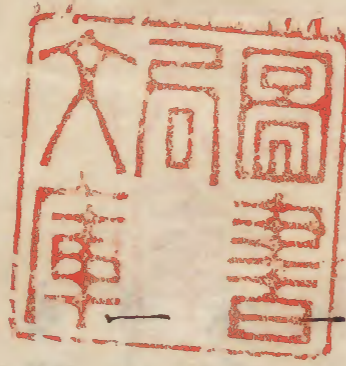
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



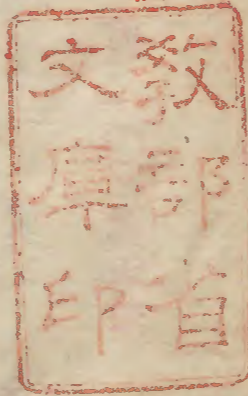
© Kodak, 2007 TM: Kodak





新編江戸志卷之八目錄

内一〇二四六號



市谷

牛小屋

長延寺谷

加賀屋敷

大久保

百人町

若松町

四谷

較ヶ橋  
大木戸

寺町  
十軒ヶ谷  
恩原  
追分

千日谷  
内藤宿

中野

代々木



五箇の所持の神休といふ事社の神休とす後守と  
行そつ氏竹果多田備仲と後仲の八幡と代持仲  
と享保の比事社と多田也といふ所と多社と多  
田備仲と後仲といふ事  
仁入物お多神休といふ甲冑の事形神四皇后比咩神お  
又明の中お目る儀持受お味乾にお列唐果八幡と物  
信といふ因事といふ事神文別おといふと福  
為ち明神。世承といふ。結たるうといふ。大永年中。兵亂  
新儀すといふ慶もの比別由。室原昌運カといふといふ  
すといふ

△茶木稲荷社

後田多右側

當山之地主

神社畧記云土俗傳曰当社白狐云々茶木を目と突  
一以此神の産子六月三日並と春とといふ今も比舊  
俗残事といふ

あつて後舌口田茶木多事といふ事社とある也といふ  
神号多物といふ事神社の女子をといふ事と後章親  
考の女子社といふ事といふの事あり一月茶と林守  
此例なり

△愛敬稲荷社

別當清雲山無本寺教藏院 四町上 真言

仁入物と云え八幡別當の持儀とある茶木稲荷とありといふ  
事社といふは稲荷といふ

△丸内坂

市谷竹川向事あるま注法田丸内といふ事といふ

△おがし石 中根氏ヤキ前ノ埋植ノ合

東涼新純之た内坂ノ加賀ノ尾ノ出方同ノ石橋ノあり  
小豆今也掘りたる橋ノおれノ比ノうノ山ノ奥ノ奥ノ夜  
流ノりノとてつとち候也ノ新ノもの多ノと

△甲良屋鋪 凡内坂の辺 標原甲良豊前所ノヤキ

△鍛冶坂 本村

武藏大塚惟久ノ云カ流法候也ノ原ノ之と云るノ一ノ戸  
物ノ一ノと

△小栗坂 本村考内登道及小栗氏住居ノ地ノ之也

△合羽坂 本村

△念佛坂 谷向ノ上ノ坂

古老之坊下ノ守養寺ノ云傳古宗寺ありありノ上ノ坂ノ之と  
と又或後ノ此坂をたしと云りり老人云佛を唱ルノ之也

△牛小屋 七軒店 市ノ一ノ口ノ之也

東涼新純之流布屋伝海は迎ふあり置ん之也

牛少かにはうて車ノ之をるはうにせらるる

少の牛ニ其のこゝ家進まはははあつてその自筆の書  
持傳やとこいへり物子ニ云考即成即後ノ比は迎ふん  
引りり牛ノ轡ノりり而して一流ノ上流ノ時即車ノ牛  
多めり而して牛ノ山ノ東ノ所ノ比は牛少かニ牛  
をくそは標所也云と云り用事多し四谷大橋ノ  
は流りり物口ノ市各所ノ之也云云

河内國河津郡河津村  
之長延寺谷 九内北谷 万昌山長延寺の谷の谷  
江戸物子と云此地考ハ池ノ下流波也藤氏河津の内子也の  
地今も云々

△洋泉寺谷 江戸下市谷所北天谷山洋泉寺有石名付

△万昌院旧地 江戸物子と云谷在旧坂火消河津の地也久宝山万昌院  
寺の寺六箇下より此所より川上後今爲り土り一福

△加賀屋敷 尾引候所也

清泰院殿江戸時の人長谷の地也享保八年冬日録の後京

中ノ所云々

△五段長屋

尾引候西方町也云々此所也

△河田ヶ窪

茶王寺前也云々南側市谷村町  
北側牛込河田ヶ久保

△正覚山月桂寺 禅宗 鎌倉日覺寺末寺願百石

紫雲一寺云初ハ平安寺とて市谷より月桂院殿とて  
在連川初純江崎女の菩提所也明暦元年月桂院禪尼  
八十八歳逝き其後月桂寺と号と額を  
金地院普濟禪師の字の云々云々

塔及 松竹庵 卧竜庵

○稻荷山東光院 真言宗 加賀屋鋪下 寺願百石

江戸物子と云々寺ハ元來言宗也退轉して草庵と成し

上元派此黄壁冰凌雲和尚中真

○無量山大信院珠寶寺 淨土 本村四丁目

用山覺蓮社大譽上人洞雲和尚寬久二年六月廿二日  
寂

舟殿天社 弘法大師作 護法神也

○七宝山藥王寺 平賀末 饅頭谷 修行寺下

火焰地藏 人紐藥師

○如説山修行寺 日蓮宗 平賀末 饅頭谷

用山日城上人

○瑞光山道林寺 禪宗 妙心寺末 同所

用山秀外和尚

○白鳥山善慶寺 一向宗 東本願寺末 同所

用山善慶坊

善慶寺寺中 説法寺 同所

用基

○一方昌山長延寺 禪宗 曹洞宗 長年寺末 同所

用山喚英長應天和尚

○清光山林泉院安養寺 淨土 智恩院末 谷町

用山心蓮社深譽上人貞公和尚 天正二年 甲戌起立

首の地ハ一谷頗富也人故也今尾州川館川橋し内町曆  
二年三也秀譽上人の時今の地も移り

△稻荷社 當寺 鎮守





○大久保山永福寺 禪宗 牛込万昌寺末 同所  
開山 桂屋和尚

○王峯山長光寺 日曹洞午以宗參寺末 同百人町  
開山 得可大和尚二世中真海翁刹大和尚  
此所日照寺後明神ノ社ノ下ニハ入末ノ取ニ委ニクナリ

○金龍寺 禪宗 中野成孔寺末

○善竜寺 日 宗參寺末

○福應山蓮光寺 日蓮宗 本性寺末 牛込若松町  
信列川中島

開山 惠性院 日 是上人 大久保の開基也

○東護山願正寺 一向宗

開基 安養坊了善 了以保正々子ノ寺付

十駄ヶ谷辺

○高耀山寂光寺 上野末

開山 月宗贈聖人 合宗開基大僧都圓雄

○長廣山立法寺 誕生寺末

開山 日了聖人 甲列大野 本遠寺末

○法雲山仙壽院 相列 宝泉寺末

開山 日遥聖人

○高雲山隨日寺

開山 天空宗祝

岡山天竺天竺院  
○高橋 較 橋辺

岡山 ○宝巖山龍谷寺 上列 龍源寺末

岡山 ○放光山竜潭寺 黄壁末

岡山 ○長徳山妙行寺 本成寺末

岡山 智泉院日善

岡山 ○銀樹山涼泰院林光寺 栗

岡山 哲道御坊

岡山 ○妙性山正覚寺 身延末

岡山 正覚院日如

岡山 ○栄狐山香蓮寺 灵巖寺末

岡山 静蓮社寂誉上人

岡山 ○白岩山崇源寺 智恩院末

岡山 ○顯如山天明山本迹寺 小漆末

岡山 日清上人

岡山 ○久羽山教昌寺 上列 龍苑院末

岡山 ○高月山長善寺 所花房の後 増上寺末

岡山 洋蓮社寂誉瑞翁上人 鐵佛アリ



梅を保るをいふ原ふよけ地ありて其の元元とい  
まゝのうてりてしう一 勢多郡由緒 勢多郡の古名を  
いすつしんあはれしうし 勢多郡の古名をい  
はるは地ハ千結ケある屬も山系東麓地ハ曰谷ハ之を  
千結ケ存の地ハ又も江戸物多の谷と云ハ千日谷甚高  
谷多結ケ有上る所の曰谷ありてハ千日谷と云ハ千日谷  
此を實元比進ハ外曲輪ハ所ハ是代多の千結ケ  
より西の方概即の方ニ至してハ勢多谷を流ル也ハ勢多  
のみ多ハ信<sup>キリ</sup>てて人の傳れりて勢多の田主人家曰谷と云ハ  
しりし多ハ是をいふと云りてハ勢多谷ハ是なりハ是なり  
カハ是なりと云ハ是なりと云ハ是なりと云ハ是なり

△曰谷所門 振所十丁目

江戸物多ハ此所門ハ外ハ曰谷と云ハ土下目十二目ハははは  
多の時代也ハ所門ハ外ハ是なりハ是なりハ是なりハ是なり  
曰谷新記云勢多十丁目りりハ是なりハ是なりハ是なりハ是なり  
つぎハ是なりハ是なりハ是なりハ是なりハ是なりハ是なりハ是なり  
是と勢多十丁目りりハ是なりハ是なりハ是なりハ是なりハ是なりハ是なり  
是と勢多十丁目りりハ是なりハ是なりハ是なりハ是なりハ是なりハ是なり

△紀伊國坂

江戸物多ハ是紀伊國坂の北の方の地也ハ是なりハ是なりハ是なりハ是なり  
是と勢多十丁目りりハ是なりハ是なりハ是なりハ是なりハ是なりハ是なり

同馬場







紫丁お云四谷信子所造りの内今川坂より一里  
夫婦の者共山人の妻を伴うて信子に伝へたあり

稲高坂よりあ坂まで陸降稲高の地なり  
稲地は京坂  
と福のありはる陸地地なり

△千目谷 町一 京西南の方

紫丁お云千目寺と云寺を造りては  
永固山一里  
とあり

△信濃原 今信濃所と云 千目寺の永井信徳を  
下きと云

△仲殿所 紀州扇谷の地 信阿仲を  
下きと云

今里信仲所と信をえ永井信徳  
下きと云

△大木戸 大園戸と書し  
千目寺中世の海を

求涼新記云信古の妻は園戸の大木戸あり  
一里あり  
大木戸武列の大木戸として信古の  
冥所なり

大木戸と云此と云と云  
一里あり

園戸と云此と云と云  
一里あり

此と云と云と云と云  
一里あり

△汐干の里 潮踏の里と云  
大木戸の先なり

仲殿所より半町斗り西北の方  
あり潮踏降と云里信子

千目寺より別坂中潮踏  
信子堂あり大木戸より  
汐干

潮踏の地なり 信子堂あり  
大木戸より汐干

西より大木戸の向なり  
可老以千目ハカ  
のよりを坂の

信子堂なり



△糶屋横町

大坂のいしりけり横町大坂の方へゆくは音与方所の  
のちとつひしち坂の道へ大坂糶屋をもちて下りし  
とけり

△内藤宿新屋鋪

或人の伝ふ内藤宿の飯屋なるは九万坪ありて江戸の  
おととを九万坪あり地とて大坂の飯屋とて  
内へ大坂の飯屋とて大坂の飯屋とて

△麻 畠

土竹門屋より竹後の大坂と此のふて毎年地を  
獲りありしは麻畠とて土竹門屋を或下向の付は地

三々いふしりり

△市言葉の松

江戸物よとて寛永比竹屋の由内藤宿の由とてありし  
松とてあり

△千駄ヶ谷

紫で云々右道流坂足の時此の西の橋千駄とてありし  
千駄とてあり

△花園稲荷

愛染院未 三光院 内藤宿の

△八幡神社

本地阿弥陀す八分 惠心僧都作 神願所朱印八石八斗  
此中より流る金王丸守護の儀と云 ねん物子 祭り九月廿七日



△太田川 太田橋 新者の先

しんさきのつちを左田とて 四角新町の先とてふりき流  
あれとて男と

△大上谷 又根谷と

紫一平とて無縁の先新町分りく今も稱多みみ水人  
くせとてけり

△牛窪 不動真言シヤカ光明山 莊嚴寺 護國寺未

先ハ旗ヶ谷の隣村

△鑑明神社 柏木村 日照寺持

是ハ大久保分り澄明中 柏木村とて田畑と境比ノ隣り  
神祇守ノ僧あり 義亮此傳ノ州中 未由と問テ平井門の

りしとてこれとてしつむり男とてありては後とて  
下男は：監いしやんといとてあるとてしつむり  
下男のとりたりたり人といとてありては後とて  
の傍とていし人といとてありては後とて  
後義亮土所縁地

△角筈村

十二所縁地とて 神宮忌詞とて 傍祢長尾 長尾長尾  
塞和角筈 経祢 漆紙 塔祢 阿良と皮と  
中地とてとてとてとてとてとてとてとてとてとて  
塞の後 神宮忌詞とて 傍祢長尾 長尾長尾  
て角筈とてとてとてとてとてとてとてとてとてとて

△高井戸 八寺海道とて 白戸とて



いづれに... 新島の町... 新島

△天神社

日所 日照寺持

△り、比栴

尾宮の... 也... 向の方へ入

△淀橋

多摩を... 又... 淀橋

いづれの下... 釣合あり... 多磨郡正親寺薬師堂... 朝日長え... 十西錢十六万貫

とけり

△十二處梳現

角苦村社傳之所謂十二處梳現

本宮又證誠殿ト云伊弉册尊中御前ハ又早王社ト云速玉

雄命西御前又結比事解雄命若一王子宮ハ天照皇

太神相殿ニ國常立尊是ト上比四の宮ト又舟禪師宮ハ忍

穂耳尊聖宮ハ瓊々杵尊兒宮ハ彦火々出見尊子

守宮ハ鵜草葺日不合尊是ト中の四社ト又舟一カ

宮ハ火の神 斬遇実智命十カ宮ハ土ノ神植山姫命

勸請十五所宮ハ水之神 罔象女命飛行宮ハ五穀ノ

雅産靈命是ト下四社ト又舟一カ... 神ト...

神と云ふは、蓋し以て此の九郎基と云ふは、蓋し  
武列中より、蓋し其と云ふは、蓋し其の年あり、家貧  
と云ふは、蓋し其の生ちの年あり、其の宅の蓋し其  
兵隊と云ふは、蓋し其の年あり、其の宅の蓋し其  
儀儀と云ふは、蓋し其の年あり、其の宅の蓋し其  
法と云ふは、蓋し其の年あり、其の宅の蓋し其  
其の宅の蓋し其の年あり、其の宅の蓋し其  
換て、其の宅の蓋し其の年あり、其の宅の蓋し其  
其の宅の蓋し其の年あり、其の宅の蓋し其  
其の宅の蓋し其の年あり、其の宅の蓋し其

國々村民常と云ふ初と四年、其の宅の蓋し其  
里長某成初と相協、其の宅の蓋し其  
其の宅の蓋し其の年あり、其の宅の蓋し其  
其の宅の蓋し其の年あり、其の宅の蓋し其  
其の宅の蓋し其の年あり、其の宅の蓋し其  
其の宅の蓋し其の年あり、其の宅の蓋し其

寺院

○雲竜山文珠院

真言宗 知豆院末 南寺町 成行寺向

閑山法印權大僧都祐信上人 寛永十三年丙子六月十日寂

○日照山宗福寺禪宗勝光寺末同所文珠院裏

同山嶽室積大和尚

○領王山竜泉寺同全勝寺末同所文珠院下

同山晋庵迪大和尚

○松雲山西應寺神君依巖弁の由 一向宗 東本願寺末同所竜昌寺末

同山周桂慶長十二年起立

○幡竜山永心寺禪曹洞 竜昌寺末同所西應寺並

同山挂門和尚

○正妙山法恩寺日蓮宗 妙満寺末同所松巖寺並

同山日什聖人

○平等山本性寺同 本土寺末同所法恩寺並

同山日詠上人

○金剛山顯性寺真言 宝泉寺末同所本性寺並

同山賢秀法寺兼應二癸己正月廿七日寂

○妙性山正覺寺日蓮宗 身延末同所顯性寺並

同山蓮光院日耀聖人

○溪谷山長安寺浄土 智恩院末同所正覺寺並

同山心蓮社深譽上人

○妙典山戒行寺日蓮宗 身延末同所文珠院向

同山日養上人

寺中 四立院 本壽坊 覺妙坊 海靜坊

寺中定永比處戒行寺一丁目内坊坊之







移りて堂を次再興と云ふは山未だ興へずと云ふは

○夜明鬼子母神 日随上人作

○阿詳山東福院 真言 同所 南寺所 安永寺向

○五却山辨敷天法藏寺 浄土増上寺末 同所 日宗寺並

○同山來蓮社大誓永蓮和尚 天平八年 同基 松平兵庫乃

○瑞溪山祥山寺 禪宗 撞德寺末 同所 法藏寺

○同山壁莫趙座元禪師 同所

○圓通寺 同所

○同山 同所

○雄峯山全勝寺 禪宗 岩所 常泉寺末 同所 松平中督寺末

○同山青盤系和尚 全德寺

○涼雲山西迎寺 浄土 増上寺末 北寺所 同所 全勝寺より

○同山儀蓮社仁誓上人西迎和尚

○多寺住古紅葉山と云ふは紅葉山と云ふは旧道流の泉

依りて七帝と云ふ人同基のうへ定永十二年今の四ッ谷地

と云ふは福と云ふは山々竹宮と云ふはりりて涼雲山と云

ふは涼雲山と云ふは什念佛の末ハ紅葉山と云ふ

今よけんに依りて或人ゆふは紅葉山と云ふ

○宝林山養国寺 禪宗 龍昌寺末 同所 西迎寺より

○同山祥儼吉大和尚

○ 叡永翁山全長寺 同 全勝寺末 同所 養國寺トナリ

同山釣巖觀大和尚

○ 正覺山地福院 天台 教覺院末 同所 全長寺ヨコ向  
ニホリテ目ノミヨ

同山慶存法印

○ 增光山淨運寺 淨土 智恩院末 同所 地福院ノ  
トナリ

同山信蓮社念譽終故上人龍把大和尚

○ 妙光山延壽院 天台 上野末 同所 淨蓮寺ノ  
トナリ

同山覽榮法印

○ 青竜山法雲寺 一向宗 東 同所 延壽院ノ  
トナリ

同基周永

○ 四谷山正應寺 同 同 同所 法雲寺トナリ

同基律師淨專

○ 圓通山安禪寺 天台 自證院末 同所 西應寺トナリ  
ニホリテ目ノミヨ

同山堯歡法印

○ 光明山真福寺 天台 上野末 同所 安禪寺ノ裏  
ニホリテ目ノミヨ

同山重圓法印

○ 天長山永昌寺 禪宗 龍昌寺末 同所 真滿寺ノ  
トナリ

同山舜洞大和尚

△ 天照山光圓寺 天台 山王門徒 同所 永昌寺ノ  
トナリ

開山賢雄法印

○自然山和光院

真言 知積院末

日所 光田寺ナリ

開山法印果秀

○卧雲山龍昌寺

芝 青松寺末

日所 小田

開山瑞翁俊族易大和尚

○笹寺 四谷山長善寺

相列 禪洞宗 法泉寺末

日所 南側ニテ目

開山文叟隣学

口戸妙よま中多を世とてりあ定之此作多他の時まよて  
多のち多て代かち多とてり長善院とよは小菰の中とて  
小世然世ぬくくくぬいせとともあてと 岩倉あり  
しとてりてとてりてりぬとてりてりてりてりてりてりてり

かこいしとてり

○日輪山圓照院了学寺 浄土

南伊賀所

開山團蓮社照善了学上人本尊出世阿弥院 息心僧都作

○禪雲山福壽院

禪宗 勝真寺末

日所

開山空庭積大和尚

地藏堂

觀音堂

稻荷社

市ヶ谷之部

○鎮護山圓融寺自證院

天台 上野末 奉願書石末 谷本村

開山日須上人

寺中 圓兼院

妙光院

真珠院

諸家系傳記云寛永十七建立開山旨道上人寺領二百石トテ  
名勝志云幼めハ市理山自證寺トテ日蓮宗ナリ 万法此取

らりて天台宗と改と云い

尾州津菩提所寺願二百卒石印寺附のこは戸砂よま

蜘蛛の井 境内あり

紫一本山陰よりうらの穴より漏るる毒ありて飲者  
死せりてしりし七蟻の巣ありしは源也徳之田ありし  
時古蟻と志かりしりし事ありしゆりしときには砂よま  
此穴のありし山王の社也山陰に此よりしあやまらかり  
たのいそと埋りしゆしお堂のいそし用ゐの井とありて  
此の井と志かりし古蟻と云ふは砂よまのきりしりし  
り

予一しや此寺に入りて尋らるるお堂と記すは作らんと云

つらゝのやあを筆をて造れるもの奇切りしん  
うしりし尾列のゆめりしとをある数程の時お堂  
より多附りしとよまらるる境内の化をたて  
一万坪余ありしと云ふ

○源慶寺 一向宗 東 日所

同墓

○方亀山東長寺 禅 勝兵寺末 日所

同山雪庭春積和尚

○法真山理性寺 日蓮宗 <sup>熱後</sup> 奉成寺末 内藤岩

同山日亮聖人 万治三年起立同墓久世三高在門及

○霞園山大宗寺 浄土 増上寺末 日所

用山念譽故心覺玄和尚當寺元正女房<sup>正</sup>あり故に山号と  
玄女房山と云六地苑二番目波門王元坊建立

○明了山正受寺 同宗 同所 大正寺ノ裏  
尾列出寺

用山定譽 同所 正受寺ノ  
十ラヒ

○十却山成覚寺 同所 正受寺ノ  
十ラヒ

用山定譽瑞翁 同所 正受寺ノ  
十ラヒ

○護本山天龍寺 禪 寂勝寺中大照院未  
一記 國富東昌寺未  
追分大木戸ノ先  
上ノカ子有

用山壽屋和尚 同所 正受寺ノ  
十ラヒ

○松苔山西方寺 淨土 新智恩院未  
并隨院未凡 同所成子ノ  
末

用山律真譽上人 同所 正受寺ノ  
十ラヒ

○福聚山常回寺 上列室田 日蓮宗 長年寺未 同所成子

用山中真十三世日能上人 名木ノレトシサツナアリ

○觀谷山聖輪寺 真言 和列長谷末 十駈谷 和列長谷  
末

用山行基菩薩 觀音 本尊 如意輪 行基作

用山行基菩薩 觀音 本尊 如意輪 行基作  
用山行基菩薩 觀音 本尊 如意輪 行基作  
用山行基菩薩 觀音 本尊 如意輪 行基作  
用山行基菩薩 觀音 本尊 如意輪 行基作  
用山行基菩薩 觀音 本尊 如意輪 行基作  
用山行基菩薩 觀音 本尊 如意輪 行基作  
用山行基菩薩 觀音 本尊 如意輪 行基作  
用山行基菩薩 觀音 本尊 如意輪 行基作  
用山行基菩薩 觀音 本尊 如意輪 行基作  
用山行基菩薩 觀音 本尊 如意輪 行基作

○高耀山弁光寺 天台 上野末 同所

用山日宗贈聖人白宗用基大僧都 同所

用山日宗贈聖人白宗用基大僧都 同所  
用山日宗贈聖人白宗用基大僧都 同所  
用山日宗贈聖人白宗用基大僧都 同所  
用山日宗贈聖人白宗用基大僧都 同所  
用山日宗贈聖人白宗用基大僧都 同所  
用山日宗贈聖人白宗用基大僧都 同所  
用山日宗贈聖人白宗用基大僧都 同所  
用山日宗贈聖人白宗用基大僧都 同所  
用山日宗贈聖人白宗用基大僧都 同所  
用山日宗贈聖人白宗用基大僧都 同所

一々元祿のは天台宗よかりとて  
遊女のは 境内ありて  
江戸物より名はつた所のねとて  
余は松を修りて  
ソしては松ありて  
松のよとてありて  
り今もて松ありて  
と松ありてありて  
ふ今もてありて

●◎長慶山立法寺 日蓮宗 誕生寺末 日所 五三三ヤラ  
岡山日了聖人

○<sup>潭</sup>放光山竜潭寺 日 黄壁末 日所

○長周山栄林寺

岡山法音院日実大徳

○大覚山山應寺 日 日所 法善寺並

岡山鉄牛禪師 中真別峯和尚寛文八年起立

○長岡山一行院十日寺 浄土 日所 十日谷

岡山來譽故念和尚

○<sup>蓮</sup>栄孤山香蓮寺 日 灵嚴寺末 日所

岡山静蓮社臧譽上人

○長明山法善寺 日蓮宗 小漆末 日所 陽光寺並

岡山遠光醫道聖人

○題妙山本迹寺 日蓮宗 小菴末 同所 隆蓮寺

岡山日清上人

○妙性山正覚寺 日 身延末 同所 香蓮寺

岡山正覚院日如聖人

○專念山尋光院 一向宗 西本願寺末 同所

開基祐念了順

○醫王山山服寺 真言宗 上樂寺末 柏木村 交保町先 向谷四谷内

岡山

△鎧明神ノ記ノ所 日照寺 二ヘキコトナシ

△弁々天社 弘法大師之作 薬師堂

△右工門櫻

薬師堂前より

紫一朶よりいひ江戶庶子江戶砂子此花の令く記入  
近きよりよ田右衛門といふ浪人をして此花とあしき本  
老よりして其の板折てゝの存つるけられあしよ板と  
つと継ぎの上ひあれを板葉葉てせりの色香とせり  
たまつ花のころあれしとく右衛門板といふと柏木右  
衛門よりし時極くし板ありといふ後なり保氏由  
伝と伝りの決りともあはる人のしひあせり

○長徳山妙行寺 日蓮宗 本城寺末 敷橋本迎寺前

岡山和泉院日善聖人

○瑞圓寺

千駱谷



中野

竟惠北國記行よ云水無月廿八日武藏野の内中せと云処より  
平き後より催しよりりて少くも相違ふと合入て曉  
れどもよしののちの末にもいふ所のと相れらるる  
と申して中野より北里へゆりて

采涼雜記云武蔵野中野なる中せとつし竹古は武  
蔵野の上の中野可也とつしゆりて今上野末野所不詳と云

△神明社

別當慈照寺

△氷川社

真言

宝仙寺持

△桃林

京保の比 釣命より拙せらる其風極に用々時ハ散り  
樹の桃乳色とつしをいして甚の佳<sup>桃</sup>なりこの桃林の中  
小き山あり一ツハ赤腰柳のゆし一ツハ沖池を山とつし是より  
桃林をえんとろと風系いしとる一宮保の比也や  
らうしとく其傍よ大木の松一株ありとも  
△余に伝る桃を拙るに

△石神橋

桃林より

石神とつし

△佐五右門橋

石神橋の次

小川より

△豊橋

後よりとつしゆりて小川にありし橋とつし  
ゆりて豊橋とつしゆりて豊橋とつしゆりて豊橋とつし



寺境内に浴堂あり三層の塔を造立し一生優婆塞宮と  
知行して永享十二年庚申の年六十九歳にして元正蓮ヶ塚  
境内よりありしは文明八年丙申春屋作世川菴和尚尚  
寺の董席して傳燈を桃李に嗣今も遠流せり

代々木

江戸砂子よ云中野の先う多中といふ名に廣博にして  
赤用さ草を遠く運りてよき住居の地をなす也其見

△天神社 代々木山右村 別當三寶院流 大正院

往古より鎮座して南西の法守

△八幡神社

別當天台 宝教院門中 福泉寺

△榎掛松

兼保二年五月八幡太郎義家奥羽武衛征伐の時當所  
陣旅りり又頼義入道死去のり告ありしに齊してセキ日  
この代々木よ竜居りり其時芦毛馬と此松よりありし鶴  
と柳とれしと此松よ芦毛と云ふもゆくと江戸砂子出

△白山権現

△宝池山不断院清岸寺 淨土傳通院末

岡基土井氏正勝妻正春尼也是此系木山の火燒と稱し  
ての乳人なり代々木村二百石と伝せり一時南寺と達之也

△榎松

代々木中氏の榎近き畑の中よりありて古より榎木中



美の記さきもみり

古今集

みかへそらに

しんささよまゆいよむしゆりやうあみあし表とるる

後撰

貫之

女房花より秋のむぎやうのよりもあけむしゆり

拾遺

平兼盛

かきくゆげお宿のたえぬよえはやまら末遠さくら花

新古今

通光

むさしやうとむ秋のそそぬきいさかろ風の夢

新勅撰

西行法師

よよぬくさけいさかたてまふらむさうのそけふ秋のゆ風

續古今

大納言通方

むさしやうとむ月の人きししりし尾にうすふりるゆき

續拾遺

正三位知家

又冬七日のゆきかきもなうさくそるにる次里遠きむさし

同

後二位家隆

春もゆき色よいあけさうしやうあけふれ雪の下草

新十載

前中納言定家

めくもあけむそりく月れゆくすもあけむさうのゆき

すさのゆき



新編

江戸志卷之八終

